

平成30年度 維持管理状況(6月1日～30日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O2 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去
	t/日			t	℃	℃	ppm	
有明	400	1号炉		定期点検補修中				ポイラ設
		2号炉		75.68	1,100～1,143	167～168	25～190※②	

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(※)

② 有明清掃工場 2号炉6月30日(土) 18:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で190ppmを記録した。
 過熱器蒸気圧力が上昇し、過熱器出口安全弁から蒸気が噴き出したことで蒸発量が低下した。
 それに伴い、蒸発量制御が働いてごみが過剰供給となり、過剰燃焼となったことが原因である。
 バーナ着火等の対応により一酸化炭素濃度は正常な濃度に改善されたが、その後、蒸発量の低下により炉の運転は困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。